



2023年8月10日

各位

会社名 株式会社小田原機器
代表者名 代表取締役社長 丸山 明義
(コード番号: 7314)
問合せ先 常務取締役管理部長 佐藤 健一
TEL 0465-23-0121

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

当社は、2023年8月10日開催の取締役会において、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について以下のとおり審議・決定いたしましたので、お知らせいたします。

記

当社グループは、持続的な成長と中長期的な企業価値向上の実現に向けて、資本コストや株価を意識した経営を実践してまいります。

1. KPI目標

KPI	2022年12月期実績	2025年12月期目標
ROE	▲1.1%	8.3%
PBR	0.4倍	1.0倍

2. 改善計画

当社グループは、(1) 当期純利益率の改善、(2) 総資産回転率の改善、(3) 株主還元強化の3点により、ROEとPBRの向上を目指してまいります。

(1) 当期純利益率の改善

売上総利益率30%達成を目標とし、下記施策に取り組んでまいります。

① ソフト構造の標準化

ソフトの基礎部分を標準化し、都度設計費用を削減する。

② ものづくり効率の向上

販売・設計・製造に係る業務プロセス上の課題を洗い出し、最適化する。

③ スタッフ機能の集約

当社グループの各社に点在する人事総務、経理、IT運用等のスタッフ機能を一か所に集約・標準化し、効率化を図る。

	2022年12月期実績	2025年12月期目標
当期純利益率	▲0.9%	6.4%

(2) 総資産回転率の改善

サプライチェーンを改善し在庫金額の最適化を図るため、下記施策に取り組んでまいります。

① 変種変量生産体制の構築

市場での需要の変化に応じて、求められる製品を必要な数だけタイムリーに生産できる体制を構築する。

② リードタイムの短縮

生産プロセスの変革により部品の調達数・調達時期や設計・調達・製造タイミングを最適化し、リードタイムを短縮する。

③ 変動費の低減

部材費が高騰する中、仕様を標準化し部品点数を削減することで変動費を削減する。

	2022年12月期実績	2025年12月期目標
総資産回転率	0.865回	0.900回

(3) 株主還元強化

下記のとおり配当方針を変更し、株主還元を強化してまいります。

変更前	変更後
原則、配当性向30% ただし、1株あたり15円の安定配当部分を設定	下記のうち、金額が大きい方 ・ 配当性向30% ・ DOE2.0% ただし、1株あたり15円の安定配当部分を設定

詳細は、2023年8月10日公表の「配当方針の変更、配当予想の修正及び株主優待制度の新設に関するお知らせ」をご確認ください。

以上